

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 半田市立亀崎小学校 (※正式名称を記載)
種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☒ 小学校 ☐ 小中一貫^{※注1}
☐ 中学校 ☐ 中高一貫^{※注2} ☐ 高等学校
☐ 教員養成大学 ☐ 専修学校、各種学校
☐ 特別支援学校
☐ その他（例：小中高一貫）
所在地 〒 475-0022
愛知県半田市亀崎月見町3-10
E-mail kamesyo@kamezaki-e.ed.jp
Website _____
幼児児童生徒数 男子 357名 女子 373名 合計 730名
幼児・児童・生徒の年齢 6歳～12歳

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

本校は、「かがやく命を育むプロジェクト」を学校理念として、安全に行動し、家族や仲間、地域のために進んで貢献する児童の育成を目標とした。

具体的には、命の教育や地域に関わる教育を柱に、①防災に係わる活動、②地域の伝統行事に係わる教育、③環境に係わる学習を行った。

① 防災に係わる活動

本校は「亀っ子防災隊」という組織を児童と教員そして地域で結成し、様々な防災活動に取り組んでいる。目的はもちろん自分の命を自分で守ること、そして、地域で団結をして地域の防災力を高めていくことである。

その取り組みとして、「避難済札・要救助札」を全校児童で作成し、地域に配ったり、8月に学校の体育館を開放し、避難所生活体験を1泊2日で行ったり、地元企業や大学で行われる「防災学習」に参加したり、いろいろな防災活動を行っている。

② 地域の伝統行事に関わる活動

半田市には古くから、「山車まつり」という伝統行事があり、地元亀崎にも5台の山車が存在する。春になると、町全体がまつりムードになり、子どもたちもそんな環境の中、成長をしてきている。亀崎の山車まつり「潮干祭」は、毎年ゴールデンウィークに行われ、たくさんの訪問客で町が大きな盛り上がりを見せる。

亀崎の地域で生まれ育った子どもたちは、自分の生まれ育った地区の山車の名前はもちろんのこと、すべての山車の名前を多くの子もたちはしており、伝統行事に対する関心が高い。小学校では、3年生の総合的な学習の時間を使い、伝統行事に関わる学習を進め、深めている。

③ 環境に関わる活動

本校は、たくましく、心豊かに生き抜く主体的な人間の育成を教育目標とし、「花・歌・あいさつ そして かがやく命」を合い言葉に、地域に根ざした学校を目指して、様々な教育活動を進めている。その中にも取り上げられる「花」の生長を、子どもたちの成長に照らし合わせ、ともに伸びる喜びを教師と児童で感じている。実際の学校での取り組みは、全校児童による「一人一鉢運動」である。パンジーやビオラを、栽培観察し、校内を華やかにしている。3月には、栽培した花で卒業生の花道を飾ることも行う。また、5月の潮干祭の会場や駅を花で飾り、お祭りの訪問客の方たちからも、絶大な評価を得ている。

潮干祭会場の片付けの手伝いや、清掃活動は地域と協力しながら毎年子どもたちも参加をしている。



① 家族で参加中です



② 避難札を使ってください



③ 亀崎の伝統大事にね



④ 町も花いっぱい！！

(2) 活動の詳細

① 活動内容

ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

はんだ山車まつり・潮干祭については、市や町で発行しているパンフレットを利用したり、ネット上のウェブサイトを利用したりした。

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

学校では、総合的な学習の時間や特別活動などで活動を行っている。総合的な学習として取り扱う学年については、指導内容を定め計画的に学習を行っている。活動についての反省は毎年行い、次年度の活動に生かせるよう指導法の改善も積極的に行っている。
特別活動として行う「防災隊（参加については任意）」の活動は年間の計画を作って指導を行っているが、地域の参加要請、校外で行われている講演会やイベントにも積極的に参加をするようにしている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

学校と地域が密接な関係をつくり、保ち、お互いにとって必要なことを共同で行う体制が本校にはできている。地域には「自主防災会（自主防）」という団体がある。その団体と学校が様々な場面でつながる。たとえば、避難訓練の見守り、たとえば、避難所生活で使えそうなロープワーク、たとえば、支援学級の児童との避難訓練など、学校との関係や取り組みを年間通して多く取り入れている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

今年度より、ユネスコスクールとして登録し活動しているため、内外部からの明確な評価については、まだない。今年度の活動を振り返り、内外からいろいろな意見を聞き、活動改善の参考にしていく。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

「ESD」の成果という形では取り上げていない。しかし、環境、人権、平和といったことに関わる学習の様子を、学校のホームページで取り上げたり、学校や学年の便りで地域や保護者に伝えたりして、活動の内容は発信している。一部の地域や保護者の方からは、取り組みに対してのよい評価を頂いたり、積極的に活動に参加して頂いたりしている。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

前述のように、地域の「自主防災会」という団体と関係をもっている。また、「山車祭り保存会」や「亀楽会」といった団体ともつながり、ゲストティーチャーとして、児童に話しをしていただいている。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

今年度は取り組んでいない。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

児童たちは、住んでいる町や人を大切にしようになったと感じる。地域の伝統行事地域の人から町の歴史を学ぶことで、防災の学習で、自分の命は自分で守ることを知ること、地域を愛す、地域から愛されるようになったようだ。

（3）平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

- [5 月] ・ 地域も花いっぱい活動
- [6 月] ・ 消防操法大会に参加
・ 地域の伝統文化や行事の学習
- [8 月] ・ 地元企業の防災活動に参加
・ 防災キャンプを実施
- [10月] ・ 防災講話
- [11月] ・ 地域の防災訓練に参加
- [12月] ・ 「避難札」を地域に配布
- [2 月] ・ 地域の減災イベントに参加

- （通年） ・ 花いっぱい活動